



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員数 747人

医師 161人

コメディカル 586人

管理栄養士派遣登録数 37人

《目次》

「原点」にもどる重要性と困難性 伊藤 眞一 先生

.....Page 1

研究会等の実施報告.....Page 2・3

研究会他のお知らせ.....Page 4



「原点」にもどる重要性と困難性

当研究会監事 府中市 伊藤クリニック 伊藤 眞一

糖尿病診療に従事していると、糖尿病そのものに関する研究会は勿論、循環器領域、腎臓病領域の研究会にも出席することが多い。昨日のインスリンの研究会で、某大学教授はBOT（経口剤への基礎インスリン併用）の講演の最後の開業医へのメッセージとして一番大切なことは「原点」にもどって食事、運動療法を徹底することであり、「先生のいうとおり、インスリンをちゃんと打っている。運動もせず、食べたものを腹一杯食べてもHbA1cが良くなっているのだから、多少肥満があっても何が悪い」という患者さんを作ってはならないと忠告された。

先週の循環器の研究会でもPCI（心カテーテル治療）領域の話で、風船療法からステント療法の話となり、夢の治療と思われていたDES（薬剤溶出ステント）にも様々な問題がおこり、結局メタボリックドミノの源である食事療法、運動療法が一番重要であると結論していた。やはり「原点にもどること」が大切だと最近以前よりそう思っている小生も納得するところであった。しかし2008年4月の診療報酬改定の内示をみて、厚生労働省は何も考えていないと矛盾を感じた。というのは外来栄養食事指導料はもっと高点数にし、じっくりと指導すべきなのに変更はないし、生活習慣病管理料に至っては「生活習慣病を有する患者に対し、治療計画に基づいた治療管理が円滑に実施されることが重要であるが、患者の自己負担が高く、普及が進まない生活習慣病管理料について、点数を引き下げて普及・拡大を目指すとともに一層の内容の充実を行う」という理由で大幅に低くなっている。

糖尿病診療はじっくり患者さんの話を聞き、なるべく投薬をせず、栄養士の先生のマンパワーをもっと患者さんに与えるべきなのに何かが間違っていると感じたのは小生一人だろうか。



研修会等の実施報告

第5回 スキルアップ・セミナー

第5回スキルアップセミナーが1月20日（日）三鷹産業プラザにて開催されました



片山先生の講演



ご参加された実地医家の先生方

詳細は次号でご紹介致します。

第22回 糖尿病連絡会

「地域における特定健康診断・特定保健指導への取り組み」



去る2月6日（水）公立昭和病院講堂において第22回糖尿病連絡会が開催されました。参加者は36名。

今回は「地域における特定健康診断・特定保健指導への取り組み」と題して石橋クリニック院長 石橋 幸滋先生に、本年4月よりスタートする旬な話題で、エリアとしてどう対応していくのかと言う課題も含めてお話いただきました。引き続き特別講演として東京大学大学院医学系研究科検査部講師 下澤 達雄先生より「最近の高血圧の話題」についてお話いただきました。

ご自身の研究テーマであるアドレノメデュリンと臓器障害についての研究成果に始まり、各高血圧治療薬の薬剤特性についての紹介や、今後の高血圧の治療方針についてもご解説いただき大盛況の中、会を終了することができました。

第43回 多摩北部医療センターとの糖尿病に関する診療連携の会



平成20年1月21日(月)に多摩北部医療センターにおいて、「第43回 多摩北部医療センターとの糖尿病に関する診療連携の会」が開催されました。今回、当番世話人は多摩北部医療センターの中野 忠澄先生がご担当され、ご自身の施設から管理栄養士の内藤 周先生より「糖尿病ワンナイト入院の実際とその効果」という演題でご講演いただきました。糖尿病ワンナイト入院の概要・実際・成功の症例報告等をしていただき総括として、当初対象とした多忙なため長期入院が不可能な患者だけでなく、長期の入院を拒んでいた高齢患者にもワンナイト入院は、効果の高い事が分かりました。糖尿病医療チームが連携して指導を行うことによって、患者の療養生活の支援に役立ち、今後に向けて効率的かつ有効な入院効果が得られるよう、システムの充実を図りたいと述べられました。様々な職種間での活発な意見交換が行われ、本会は盛況のうちに終了いたしました。



研究会他のお知らせ1

◆直接事業

◇間接事業

- ◇ 日 時：平成20年3月8日(土) 14:00～16:30
 会 場：ルネこだいら「中ホール」(申込不要：当日会場まで直接おいで下さい)
 住 所：小平市美園町1-8-5 (西武新宿線 小平駅下車 南口徒歩3分)
 会 費：無 料

13:00～ 講演会開始前にロビーにて糖尿病療養指導士による相談コーナーを実施します。

テーマ：『糖尿病を勉強しませんか?』～正しい知識があなたの未来を明るくする～

第18回東糖協多摩ブロック糖尿病教室

座長：武蔵野赤十字病院 内分泌科部長 菅野 一男 先生

『やさしい糖尿病腎症2008』立川相互病院 内分泌代謝科部長 住友 秀孝 先生

『私達の糖尿病体験談』野火止会 投壘 博樹 様 むさしの会 岡村 訓行 様

第14回西東京糖尿病患者会連合 特別講演会

座長：公立昭和病院 内分泌代謝科部長 貴田岡 正史 先生

『糖尿病合併症の予防』～眼科受診から足の手入れまで～

東京都済生会中央病院 副院長 渥美 義仁 先生

※【西東京糖尿病療養指導士認定】更新のための研修単位：2単位



研究会他のお知らせ2

◆直接事業

◇間接事業

◇ 第19回東糖協多摩ブロック糖尿病教室 (申込：不要)

日時：平成20年3月8日(土) 13:00~15:00

会場：青梅市立総合病院 南病棟 3階講堂

住所：東京都青梅市青梅4-16-5 (JR青梅線 河辺駅下車 南口徒歩5分)

テーマ：講演1『糖尿病における薬剤について』

座長：青梅市立総合病院 内分泌代謝科 副部長 名和 知久礼 先生

講師：青梅市立総合病院 薬剤部 副部長 田中 三広 先生

講演2『旅行に出かけてみませんか? -糖尿病だって大丈夫-』

座長 柳田医院 院長 柳田 和弘 先生

講師 高村内科クリニック 管理栄養士 堀部 直子 先生

会費：無料 (どなたでも参加いただけます)

※お申込みの必要ありません。当日直接会場までお越し下さい。

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

◇ 第3回西東京糖尿病心理と医療研究会ワークショップ (申込：要)

日時：平成20年3月22日(土) 15:15~18:50

会場：八王子労政会館

住所：八王子市明神町3-5-1 (JR中央線 八王子駅下車 北口徒歩10分)

テーマ：特別講演 『糖尿病を引き受ける』

座長：東京医科大学八王子医療センター情報室 室長 植木 彬夫 先生

演者：天理よろづ相談所病院 内分泌内科 部長 石井 均 先生

他、各講演有り。

会費：2,000円

※日本糖尿病療養指導士認定更新のための単位申請中

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位

※参加にはFAXで事前申し込みが必要です。

FAX 042-362-1602

事務局からのお知らせ

ご住所、勤務先にご変更がありましたら事務局にご連絡をお願いします。当研究会ホームページの『研究会からのお知らせ』にPDFファイルで変更届をご用意しましたのでご利用ください。変更届を必要事項を記載をしてファックス又は郵送で事務局にお送り下さい。

<http://www.nishitokyo-dm.net/>

発行：NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 オリエン特プラザ402

TEL: 042(322)7468 FAX: 042(322)7478